

平成 31 年 年頭のご挨拶

静岡福井県人会 会長武長敏彦

本会の会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

日頃から本会の活動に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年中の私共の故郷福井県では、2月のこの時期に大変な豪雪に見舞われて国道8号線には1,500台もの車両が数日間、雪によって閉じ込められたこと、又一方9月から10月にかけて平成最後の国体が、本県が開催地として準備から運営に至るまでその大役を見事に果たし、しかも男女総合優勝・・・の偉業を成し遂げたこと、まさに福井県民の底力を遺憾なく発揮した大会でありました。

本年の私共県人会での活動としては、先ずより多くの会員の皆様が参加して相互に親睦を深めて頂く為の行事を企画してまいりますと同時に、新会員の加入を促進する為に、他の県人会にも更に積極的に働きかけるようにして行きたいと思っております。その為にも会員皆様の引き続きのご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

結びに、本年が皆様にとってより良い1年となりますこと、と共に皆様方の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

平成 31 年の新年会・・・のご報告

平成31年は亥年。平成時代の最後の新年元旦の朝は、素晴らしく晴れ渡った青空のもとで、真に清々しいスタートでありました。

私共県人会の新春恒例の新年会が、去る1月20日に中島屋グランドホテルを会場として開催されました。ご来賓は福井県東京事務所 副所長の渡辺様と同事務所 主任の野路様をお招き致しました。

その日会場には、会員が13名と少数でしたが、それにはインフルエンザによる体調不良で欠席の人が多かったことに因るものでした。

新年会は、先ず中村幹事が開会の宣言をされたあと、武長会長が挨拶に立ち、本日のこの新年会は平成の時代での最後の新年会になること、また5月からの新元号での1年目となる為に尚一層の飛躍を目指したい・・・旨の挨拶でした。

次に本日も出席のご来賓を紹介させて頂いたあと、渡辺副所長様にご挨拶をお願いし、そのなかに故郷福井県の近況のお話で、昨年県内では2月に豪雪に見舞われたこと、秋には県内各地で「福井国体」の競技が行われ、その結果は見事に総合優勝に輝いたこと、北



陸新幹線の工事が完成を目指して着実に進められていること、中部縦貫自動車道の工事も福井～大野～白鳥へと整備されていること・・・などを詳しくお話しされた後、ふるさと納税にもご支援、ご協力を・・・の要請がありました。

記念写真撮影を終えたあと、懇親会へと移りました。

開宴は、飯田さんによる乾杯の発声で開始されました。暫く歓談を楽しんで頂いているなかで、同じ高等学校の先輩、後輩の関係になる人・・・などの話題で賑やかな雰囲気となってまいりました。初対面の人もおられましたので、本日の出席者全員の紹介と近況報告なども交えてのスピーチをお願いしました。その後余興となり、会員の大橋さんが仲間3人の方と一緒にハーモニカの演奏を自らやって下さることになり、その大橋さんから、皆さんが良く知っている曲目を演奏するから歌って下さいよ・・・と、わざわざ歌詞まで準備して配って下さいましたので皆さんが口ずさんだり又前に出てマイクで歌う人などで、楽しく歌い、ラストの曲は「ふるさと」を全員で合唱して余興は終わりました。

しばらく歓談したあと、やがて閉会の時間が迫り、野路主任に三本締めをして頂きまして、いよいよ最後は下幹事の閉会の辞でお開きとなりました。

帰り際に、福井の冬の時だけの名産品「水ようかん」を取り寄せて、皆さんに手土産としてお持ち帰り頂きました。普段には食べられない珍しい名品です。

楽しい和やかな新年会でありました。

以上

ふるさと福井県を大きくアピールして 県の花「越前水仙」を、川勝知事に贈りました

去る1月22日に、故郷福井の越前水仙生産組合から、段ボール箱に綺麗に詰められた越前水仙が2箱送られてきました。水仙の花の状態は、蕾のものと、少し開花し始めた頃の、丁度良い頃合いでしたので、これを早速1月24日に谷田相談役と私(武長)とが、県庁を訪ねて川勝知事に直接お渡ししました。

知事が直ぐに手にされ、甘い香りの良さと強さに大層驚かれた様子でした。

この水仙の特徴を説明することも大切かと思

い、香りの良さ、日もちの良さ、花がひき締まっていること、茎が太くてしつかりしていることなどの話しに頷かれ、更にこの水仙が福井の県花であることに納得された様子でした。

こうして今回、水仙を知事に贈ることになったのは、1月20日に新年会を開催した際に、ご来賓として出席して下さった渡辺副所長様とのお話のなかで、福井県への観光宣伝を、静岡県内でも是非共大々的にアピールして欲しい・・・との要請がありましたので、それではこの時期に最盛期の「越前水仙」の良さ、特に清楚で、凛とした姿の水仙を川勝知事に贈り、福井県を大きくアピールしますからとの合意のもとで手配を願い、送って頂いた次第です。今後共時期折々のタイミングで故郷の観光アピールを声高にしていきたいと思います。

一諸に訪問した 武長 記



若狭高サバ缶宇宙食に

小浜市の若狭高が宇宙食として開発に取り組んできた「サバ醤油味付け缶詰」が、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の宇宙日本食に選ばれたことが、6月までに決まった。これまでJAXAが認証した宇宙日本食は大手食品メーカーの製品がほとんどで、高校が開発した食品が選ばれるのは全国で初めて。若狭高に統合された旧小浜水産高で12年前に始まった取り組みが実を結んだ。国際宇宙ステーション（ISS）に滞在する宇宙飛行士の食事として採用される可能性がある。

（吉川良治）

【26面に関連記事】

高校初、JAXA認証へ 12年間の研究実る



宇宙日本食の認証に向け、サバ缶詰の開発に取り組んできた若狭高生＝小浜市の同校海洋キャンパス

12日に若狭高で行われる認証式で正式決定する。宇宙食の研究開発は、2006年に旧小浜水産高が食品製造の衛生管理システム「HACCP（ハサップ）」を取

得したのを機に始まった。ハサップは、米航空宇宙局（NASA）が安全な宇宙食を作る目的で考案。この経緯を知った生徒から「宇宙食を作れるのではないか」との声が上がり、鯖街道で知られる小浜のサバの発信にもつながればと研究を始めた。JAXA職員を招いて話を聞くなど宇宙食に対する理解を深めながら、試作を重ねてきた。

無重力空間での食事は、水分や食べかすが飛び散らないことが重要。これをクリアするため、汁はくず粉を使ってとろみをつけゼリー状にした。また、無重力では味覚が鈍くなるとされることから、濃いめの味付けにした。

食品の質だけでなく、製造工場の衛生管理などさまざまな基準を満たす必要があり、達成に向けて生徒と教職員が一丸となって取り組んできた。14年に宇宙日本食の候補33品目の一つに選ばれ、その後の品質試験、1年半に及ぶ保存期間などの試験に合格。正式決定の運びとなった。

若狭高で宇宙食開発に携わり、16年3月に卒業した保育士の村橋里菜さん(20)＝京都市＝は「選ばれると思っていたのではありません」と声を弾ませた。当時はくず粉を使つてとろみをつける研究を担当したといい「硬くなりすぎると味がしみこまない。くず粉のちよつど良い分量を見極めるために試作を繰り返すのが大変だったことを覚えている」と振り返った。

12日はJAXA宇宙飛行士の若田光一理事兼有人宇宙技術部門長らが西川一誠知事を県庁に訪ねた後、同校での認証式に出席する。

県人会協議会が静岡新聞に掲載されました

会員の皆さんは周知のことではありますが、2017年4月に「静岡県内各県人会協議会」が設立されました。この会は福井県人会が静岡県内に組織化されている他県の県人会に呼びかけて、今後一諸に活動を始めませんか？・・・それに呼応されたのが石川と新潟の県人会でした。一諸に活動を始めて2年経過しましたが、今日まで様々な行事を企画し取り組んで来ましたが、他県人にも素晴らしい人達が多いです。これから先が更に楽しみだ・・・と思っています。

昨年12月に静岡新聞社三島支局の記者の中瀬駿介氏(福井県大飯町出身)から突然電話があり、その協議会についての取材をさせて欲しい・・・旨の要請であったので、市内のホテルの喫茶ルームで取材に応じましたが、その時の内容は会の設立目的や、活動状況、魅力などと今後の目標などについて・・・を説明しておきました。尚、今日取材に来られた中瀬氏は、我々と同県人でありましたので、是非私共の県人会に入って下さるよう頼んでおきました。 以上



4月に開催します定期総会のご案内

- 1、日時 平成31年4月20日(土) 12時より
- 2、場所 中島屋グランドホテル
- 3、会費 6,000円
- 4、議案
 - ① 平成30年度の事業報告及び会計報告
 - ② 役員の変更について(新役員を選出し承認まで)
 - ③ 平成31年度の事業計画案及び予算案の審議
 - ④ その他

平成31年度の定期総会の開催ですので、全会員の皆さん方万障お繰り合わせのうえ、是非ご出席下さいますよう宜しくお願い致します。

(同封のハガキでもご案内してあります)

役員の変更に伴う会長及び幹事、各役員の選定方法は、以下の通りとします。

1. 役員会に於いて、会員の中から選考委員を数名を任命し、その中から代表の委員を選考委員長とする。
2. 会長の選定は、規約第5条第3項により、総会に於いて選出し決定する為に、次の要慮で行う。
 - ① 会長に立候補する者、及び推薦したい者は、本議案が審議に入る直前までに、選考委員長に申し出ること。
 - ② 選考委員長は、前項により申し出た者を総会に諮り、出席者の過半数以上の賛同により選定と見做し承認されたものとする。
3. 各役員の選定方法については会長が幹事の中から、各役員を任命し、それを総会に諮り、承認を受けるものとする。